

■演題：製造業は、不確実性の時代をどう生きるか？  
～これから求められる「企業変革力(ダイナミック・ケイパビリティ)」とデジタル・トランスフォーメーション～

■日時：2021年4月13日（火）15：00～16：00

■講師：経済産業省 製造産業局 ものづくり政策審議室長 矢野 剛史 氏

■略歴：

1997年、通商産業省(基礎産業局総務課)に入省、その後、資源エネルギー庁、内閣官房(知的財産戦略推進事務局)、在シンガポール日本大使館、貿易経済協力局(貿易管理)等を経て、現在、ものづくり政策審議室長として、ものづくり白書の作成等を担当。

■概要：

経済産業省が昨年度公表した「製造業DXレポート」について説明を行う。本レポートでは、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大など事業環境の変化への対応が求められる製造業において、適切にデジタル技術の実装を促していく上で必要となる視点、取組などについて述べている。具体的には、DXを通じたエンジニアリングチェーンの強化に向けて、実際に製造業が直面する課題や具体化への取組における課題解決事例、各社が取り組んでいる先進的な取組について整理を行っている。また、不確実性に柔軟に対応し事業戦略を推進していくためには、経営者の理解促進とともに、経営者自身が強いリーダーシップを発揮して、DXに取り組んでいく必要性についても述べる。

また、その前提として、我が国製造業を取り巻く環境の不確実性が増す中、企業活動において「企業変革力(ダイナミック・ケイパビリティ)」を備え、予想困難な環境変化に対する柔軟性や多様性を確保することが重要であることを述べた上で、「ダイナミック・ケイパビリティ」を高めるために、IoTやAIといったデジタル技術を活かしたデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、特に、バーチャル・エンジニアリング等のデジタル技術を活用した設計力の強化に取り組むことが重要であることについて、2020年版ものづくり白書に沿って概括的に説明を行う。

